



にかさい

江戸川区立第二葛西小学校

令和8年10月2日発行

「聴く」「引き出す」「認める」

副校長 横山 友美

子どもが何か失敗したり、やるべきだったことをやらなかったりしたとき、私たちは、ついこのような言葉掛けをしてしまうことがあります。

「なぜ、このようなことをしたの。」「なぜ、やらなかったの。」「なぜ、同じことを繰り返すの。」

「なぜ」というこの問いに、子どもたちはどのように答えるでしょうか。

子どもたちは、私たち大人との関わりの中で、日々多くの言葉や言葉以外の情報を用いたやりとりをしています。このやりとりの中で、子どもが「自分は、大切な存在として、受け容れられている。認められている。」という土台が形成されれば、子どもの心の中で、課題や向かう方向が明確になります。そのような関わり方を「コーチング」という技法の中から見つけていきます。先日、本校で行われた「道徳地区公開講座講演会」での、講師の篠崎 浩先生のお話は、そのような内容でした。篠崎先生から教えていただいた、「子どもの心を育てる関わり」のコツを、3つ紹介します。

- ① **子どもの話を、よく聴く。**抱えているものを、しっかり受け止める。大切に思われていることを実感させる。
- ② **(前述の)「なぜ質問」を「なに質問」に変える。**「何が原因でできなかったんだろう。」「何があったら、できるのだろう。」「何を工夫したら、約束を忘れないでいられるかな。」
- ③ **明確なリクエスト(やってほしいこと)に、I(アイ)メッセージ(私は、を主語としたメッセージ)を付け足して伝える。**「必ず宿題をやってね。(私は)応援しているよ。」「ぜひ、練習してね。(私は)あなたの成長が楽しみだよ。」

学校でも、毎日の子どもたちとの関わりを通して、子どもたちの意欲を引き出し、自立しようとする力を支援するため、技術を学び、研鑽してまいります。今後とも、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

「HAPPY ENGLISH FRYDAY(ハッピーイングリッシュフライデー)」

2学期より、毎週金曜日は「HAPPY ENGLISH FRYDAY」を実施しています。全ての学年で、朝の挨拶は「Good Morning!」で始まり、朝の会や健康観察、帰りの会などを英語で行います。本校の外国語の時間は、「躊躇なく英語を話せる子」の育成に向けて、とても楽しく充実した学習を実施しています。HAPPY ENGLISH FRYDAYでは、教員からの英語での挨拶や言葉掛けに、子どもたちが「Hello!」「See you!」と応じていたり、『おはよう』『立って』は、英語で何て言うんだろう。」と考えたりする姿が見られました。毎週金曜日は、ご家庭でも朝に「Good Morning!」と声を掛けたり、帰宅時に「Welcome back!」と迎えたりしていただけると、幸いです。

朝会で、
HAPPY
ENGLISH
FRYDAY
の紹介を
しました。



十月の暗唱
わたしと小鳥(よみ) 金子 みすゞ
わたしが 両手を 広げて、
お空は ちっとも 飛べないが、
とべる小鳥は、わたしのよう、
地面を はやくは 走れない。
わたしが からだを ゆすつても、
きれいな音は でないけど、
あの鳴るすずは わたしのよう、
たくさんうたは 知らないよ。
すずと 小鳥と、それから わたし。
みんな違って、みんないい。
金子みすゞさんは、大正末期から昭和初期にかけて、活躍した詩人です。五百ほどの作品を残しています。
この詩は、とても有名な詩で、コーシヤルにも使われたことがあります。
ことばの意味を考えて、ゆつくり味わって読みましょう！